

< 合歡のうた >

— おはなし大～好き!! —

(読み聞かせが育む しなやかな心)

「ネェ～また山羊のお話して…。」

「トロルがいいナ」

「きたないちゃんが好き!!」

「山婆は怖いけどおもしろいんダ」

たまにの効用でしょうか？子ども達から園バスに添乗した際に語った話をリクエストされることがあるのです。子ども達は繰返し繰返し同じ話を飽きることなく楽しみにしてくれているようで…嬉しい限りです。

脳科学者の川島隆太郎氏は、子ども達の意欲を伸ばすには、未就学期における親子のコミュニケーション、共通体験の大切さを説いています。意欲を伸ばすベースは脳の深部に在る「辺縁系」で感情、情動を司り、専門家の間では「こころの脳」と呼ばれているようです。

読み聞かせは“脳のご馳走”です。語いが増え、聞く力や指示を正確に理解する力を養い、脳のネットワークの発達にも深い関わりがあるそうです。豊かな感情を育て、何よりも温もりのある安らぎをもたらします。(毎日続けることが大事だそうです。)

秋の夜長、眠りにいざなう数分を時にお父さんの声で、時にお母さんの声で語りかけるひとときは如何でしょう…。

